

2013年11月
住友化学株式会社
株式会社ボナック

核酸医薬原薬の製造開始について

住友化学株式会社（以下、住友化学）と株式会社ボナック（以下、ボナック）は、このたび、ボナックが保有する核酸医薬原薬の製造・販売に関する知的財産権の独占的実施権の許諾契約を締結しました。これを受けて、住友化学は、大阪工場（大阪市）に開発用途の核酸医薬原薬の製造設備を新設し、2014年度第3四半期から同原薬の受託製造を開始することとしました。

核酸医薬は、DNA（デオキシリボ核酸）やRNA（リボ核酸）の働きを利用して、病気を引き起こす遺伝子やタンパク質に作用するタイプの医薬品です。低分子医薬^(*1)、抗体医薬^(*2)に続く、第三世代の医薬品として、近年注目されていますが、実用化に至った製品は限られており、本格的な普及に向けては、体内での安定性やDDS^(*3)などの課題を解決する必要があります。

ボナックは、これらの課題解決に有力な独自の核酸医薬のプラットフォームを確立し、特許を日本で取得したほか欧米の主要国で出願中です。現在は、国内外の製薬メーカーと核酸医薬品開発についてライセンス交渉を進めるとともに、核酸医薬品の自社開発を行っています。住友化学は、5つの事業部門を有する総合化学企業で、医薬原薬・中間体については、30年以上にわたる生産実績があり、優れた工業化技術、GMP^(*4)対応力を有するとともに、高度な品質保証体制を確立しています。

核酸医薬原薬の工業化パートナーを探していたボナックと、同社の技術の将来性、優位性に着目した住友化学のニーズが合致したことから、今回の決定にいたったものです。

住友化学は、今後、ボナックおよび同社からライセンスを受けて医薬品開発を行う国内外の製薬メーカー向けに核酸医薬原薬の受託製造を行い、医薬化学品事業の強化を図る考えです。ボナックは、住友化学から安定的に高品質の核酸医薬原薬を確保し、核酸医薬品の早期実用化に向けた開発を進めてまいります。

- (*1) 低分子医薬：化学合成により作られる一般的な医薬品
- (*2) 抗体医薬：生体がもつ免疫システムの主役である抗体を主成分とした医薬品で、標的に対する特異性が高く副作用が少ない点が特徴。大量生産が困難で経口投与ができないという課題がある。
- (*3) DDS：Drug Delivery System（ドラッグデリバリーシステム）の略で、必要な薬物を必要な時間、体内の適切な場所に届けることを可能にする技術。

(※4) GMP : Good Manufacturing Practice の略で、製造工程における製造管理、品質管理の基準を指す。原材料の入荷から製造、最終製品の出荷にいたるすべての過程において、製品が安全に作られ一定の品質が保たれるよう定められている。

以 上

(ご参考) 両社の概要

・住友化学株式会社

設立 : 1925 年 6 月

所在地 : 東京都中央区

資本金 : 89,699 百万円 (2013 年 3 月 31 日現在)

従業員 : 30,396 名 (連結 2013 年 3 月 31 日現在)

代表取締役社長 : 十倉雅和

事業部門 : 基礎化学部門、石油化学部門、情報電子化学部門、健康・農業関連事業部門、医薬品部門

・株式会社ボナック

設立 : 2010 年 2 月

所在地 : 福岡県久留米市

資本金 : 950 万円 (2013 年 10 月 31 日現在)

従業員 : 19 名 (2013 年 10 月 31 日現在)

代表取締役社長 : 林宏剛

事業内容 : 核酸合成製造委託事業、核酸系合成技術コンサルティング事業、核酸フォーム関連特許ライセンス事業